

3. 活動の展開と2008年度事業の位置づけ

NPOとしての理念

霧ヶ峰の環境保全のための霧ヶ峰型エコツアーリズムの確立

霧ヶ峰の「価値」が守られること
生態系、遺跡、生活文化（農業、醸造業、工業など）とのかかわりの歴史を伝えていくこと

霧ヶ峰の草原景観が消えることは、諏訪地方の文化や歴史の証人が大きくひとつ欠けることである。
次世代に「霧ヶ峰の魅力」を伝えていくために、
霧ヶ峰と人の暮らしとのかかわりの歴史は欠くことのできない重要な要素である。

大（長期）目標：霧ヶ峰の利用法の再構築

霧ヶ峰と「人の暮らし」の関係の再構築
「採草地」としての関係から、霧ヶ峰と人の持続可能な新しい関係づくりの提案、実施
例）エネルギー資源として

例）

- ・エコミュージアムの構築
- ・ビジターセンター（インフォメーションセンター）の運営
- ・マップ、ガイドブック（セルフガイドツールの充実）

中（中期）目標：霧ヶ峰のもつ資源力＝価値の再発見、発信

- ・生態系
（高層湿原の南限、固有種の存在、国内でも希少で広大な草原景観）
- ・文化
（スキー、グライダー発祥地、文化人の来訪やかかわり…）
- ・歴史
（黒耀石の加工地、湿原祭祀、諏訪信仰とのかかわり、研究史など）
- ・生活
（採草地、里山的利用、入会権の歴史…）
- ・経済
（ビーナスライン無料化の影響、観光業や醸造業、工業など産業との関わり、エネルギー資源としての可能性…）

- ・他団体や機関とのネットワークづくり（協力関係の強化）
- ・支援者の獲得
- ・人材育成

個別（短期）事業

2008年度計画事業（案）

<新規>

- ・環境調査（八島ヶ原湿原周辺、旧御射山、沢渡の植生・水質調査、5月下旬開始）
- ・登山道の補修・応急処置、またはその方法の開発・試行・評価（設置場所について調整中）
- ・GISデータ収集、構築準備開始（4月～）
- ・霧ヶ峰に関する文献、過去の調査データの収集（4月～）

<継続>

- ・エコツアーの実施（ガイドの受託） オリジナルツアーは企画中
- ・オリジナルグッズの製作（額装写真、ポストカード、日本手ぬぐい、雑木箸キットなど）

2008年度以降の事業案

- ・草刈り技術の保持（植生維持・復元なども兼ねる。地権者、県や文化財保護関係者との連携が課題）
- ・補修ルートを用いたツアー開催

など……